

～都市機能の集約と地域連携による持続可能な都市～

『あじさい都市』きたかみの創造に向けて



豊かな自然の恵みに包まれた北上市は、古くから南北交易と東西交易の十字路であり、物資や情報の交流拠点として栄えてきました。また、鉄道や高速道路の整備により交通結節点としての強みを活かしながら、企業誘致を核に内陸工業都市として発展してきました。

そうした中で近年は、人口減少や少子高齢化、中心市街地の衰退及び産業構造の変化や、市民意識やライフスタイルの多様化などによって社会情勢が急激に変化しています。さらに東日本大震災による未曾有の自然災害や近年は頻発・激甚化の傾向を見せる豪雨による水災害など、安心して暮らすことができるまちづくりが強く求められるようになってきました。

当市では、このような状況に対応するため、拡大基調のまちづくりの方向性を改め、既存の施設や地域資源の有効活用を図りながら、持続可能なまちづくりを目指す指針を取り入れた計画を策定しました。

本計画は、20年後のまちづくりの姿として、都市機能の集約と地域連携による持続可能な都市『あじさい都市』きたかみ』を目指すべき都市像として掲げたところであります。

また策定にあたりましては、令和元年度に策定した国土利用計画北上市計画2021～2030、令和2年度に策定した北上市総合計画2021～2030、新たに策定した国土強靱化計画北上市計画に基づくことで、暮らし続けることができる、暮らしたくなるまちの実現に向け、施策を推進しようとするものです。

本計画に基づき、生き活きと持続的に発展できる都市づくりに向けて、これまで以上に市民の皆様と協働で取り組んでまいりますので、皆様のより一層の御理解・御協力をお願いします。

結びに、本計画の策定にあたりまして、貴重な御意見や御提言をいただきました多くの市民の皆様を始め、関係各位に心から感謝申し上げます。

令和4年3月

北上市長

高橋 敏彦